



Weekly Report

NO.1220 平成 26 年 3 月 4 日

小諸浅間ロータリークラブ

例会日/週火曜日 12:30 ~ 13:30 例会場/小諸市鶴巻 音羽
事務局/〒384-0025 長野県小諸市相生町 1-2-12 エイワンビル 2 階
TEL 0267-23-8125 FAX 0267-23-2788

2013-2014 役員

会 長 / 小林 秋生 副 会 長 / 渡辺 文夫
幹 事 / 清水 良英 広報・情報委員長 / 矢島 栄一



点鐘	小林 秋生 会長
SAA	黒澤 明男 委員
ソング	君が代 誕生日の歌
ゲスト	木内 清様(小諸高校校長) 池内 宏明様(" 音楽科主任) 渡辺 隆太様(" 吹奏楽部顧問)
ビジター	梨本 睦雄君(上田西 RC)

【会長挨拶】 小林 秋生 会長

先月半ばに降った大雪の後遺症が、未だあちこちに残っています。一昨日もすこし降りましたが、春の淡雪的であり、強くなった陽差しですぐ消えました。今日は、小諸高校の先生方をお客様に迎えて、第26回目のクラブ創立記念例会であります。まだ寒さの残る春3月の夕べであります。このあと酒卓を交えて、祝いの宴を楽しみたいと存じます。

さて、今週、私の感じた想いをすこし述べて見たいと存じます。

信濃毎日新聞の第一日よう日に、ジョセフ・ナイさんのコラムが掲載されております。ジョセフ・ナイのワールドインサイドと言うコラムです。彼はアメリカハーバード大学の教授で、カーター政権、クリントン政権など米民主党政権のシンクタンクとして少なからず、関与をして来た有識者であります。

一昨日は各国のソフトパワーについて言及をしておりました。ソフトパワーとは、世界をリードするための覇権的な思想力のことを言います。これはどこの国にもある訳であります。ソフトパワーを強化出来て行けるか否かと言うことが、その国の発展を左右すると言っても過言ではありません。

まずは他国を魅了し得る一国の文化があるか、あるいは大きいか。

第2は内外の期待に応えられる政治的価値が備わっているか。

第3には、それが正当と見なされる道義的な外交が出来ているか。

すこし難しくなりましたが、要するに対外的にそ

の国が他国から魅力的に思われているか、あるいは真似をする目標にされているかでその国のソフトパワーバリューが決まるとのことです。

世界は歴史的に武力による支配が、洋の東西を問わず、経て参りました。しかしこれからの世界はこのソフトパワーがガバメントを含めてリードして行くことになった次第であります。

と言っても昨今の現実には世界にあちこちがきなくさい。中近東諸国の政変、タイランドの混乱、最近ではウクライナ政変とロシア介入の問題と気になるニュースはあとを断ちません。日本でも中国、韓国などと歴史問題、領土問題など種々ありますが、そんな政治的感情はさておき、近隣からの観光訪日の人々は大変に量を増しております。見に行きたい国、美しい国、経済的にも行けるようになった国、外交政治的には難しい問題がありますが、民間感情的には魅力評価のある素晴らしい日本であることがまちがいないようであります。これぞ我国、日本のソフトパワーではないでしょうか。そんな誇りを感じた次第であります。

以上、今週のご挨拶と致します。

【幹事報告】 清水 良英 幹事

1. 宮坂宥洪ガバナーより会長エレクト研修セミナー開催について

日時 3月23日(日)10:00 ~ 16:00

会場 マリエール伊那(伊那市)

2. 東信第一グループ高木智彦ガバナー補佐、東信第二グループ小嶋國彦ガバナー補佐よりIM・会員セミナー礼状

3. 例会変更

佐久RC 3月13日(木)合同例会の為
定刻受付なし

配布資料

会長挨拶、創立総会認証状伝達式表紙コピー
小諸高校音楽科より
平成25年度実績報告と演奏会案内

誕生日祝

矢島 栄一 会員

皆勤賞

小池 平一郎 会員 (26回目)

ラッキー賞

NO.11 黒澤 明男 君

結婚記念日祝

黒田 説成 会員

好子 夫人

湯本 敏晴 会員

悦子 夫人

黒澤 明男 会員

田鶴子夫人

橋詰 希望 会員

潤子 夫人

青松 英和 会員

順子 夫人

ニコBOX 橋詰 希望 委員

両川栄君	26年目創立記念おめでとうございます。	湯本敏晴君	結婚記念日祝、ありがとうございます。
小林秋生君	第26回創立記念例会、本日は誠にありがとうございます。	小池平一郎君	創立記念例会、おめでとうございます。
清水泰男君	“誕生26年”おめでとうございます。	小山盛夫君	音楽とともに春がやって来ます。小諸高校の先生方、ようこそ！
黒田説成君	結婚記念日祝、ありがとうございます。何となく毎日を送っています。	神津恭通君	26周年おめでとうございます。
前田博志君	26歳おめでとう！	矢島英夫君	創立記念日おめでとうございます。
橋詰希望君	創立時のお話し、神津さんありがとうございます。	掛川興太郎君	小諸浅間 RC 創立総会は1988年。今年26周年で写真を見ると若いと感じました。
矢島栄一君	創立例会おめでとうございます。誕生日祝ありがとうございます。	コメントを書く暇がなかった方	黒澤明男君、渡辺文夫君、清水良英君

【出席報告】 橋詰 希望 委員長

	会員数	出席	M・U	欠席	出席率
本日 3月04日	24	18	事前0名	6	72.73%
前々回 2月04日	24	21	事後1名	3	86.96%

次週のプログラム: 青少年活動報告(ガールスカウト) / 次々週のプログラム: お彼岸について

【本日のプログラムその1】

創立夜間例会に因んで

【講師並びに資料提供】 神津恭通会員
(資料) 創立時の設立経過報告

昨年6月迄は、愛知県と長野県は一つの地区として、101ロータリークラブが一緒になってロータリ

ー活動をして参りましたが、昨年7月1日以降長野県が愛知県と分かれる事になりました。

結果として長野地区は、41ロータリークラブとなり、地区としてはクラブ数が少なすぎることに相成りました。

一つの標準として50クラブ位が地区としての数ですから、是非ともその数を越したいという篠田ガバナーと拡大カウンセラー委員長の藤原パストカバナー並びに直前の塚田パストガバナーのご希望で、小林益三会長に対して新しいクラブを作るように強い要望が出されておりました。

小林益三会長は、昨年の7月1日の会長就任以来この要請に沿うべく、また会長自身もその必要を感じて新クラブ設立の機運の助成に奔走し、会員や理事、パスト会長会の見解を聞き、新クラブ拡大の機運が出来るや早速理事会を開いて小諸市を区域限界とする新クラブ拡大を決定しました。

9月5日付で篠田ガバナーより特別代表の委嘱を受け9月26日付で小林益三会長がエイドに委嘱されました。柳田忠副会長を拡大委員会の長として10名で組織し、役員・理事と創立会員も顧問となって拡大会議に協力することに相成りました。

数回の拡大会議を開き、創立会員に相応しい人々の推薦を受けて名簿の作製に努力を致して参りました。

他方新クラブの発起人の人選を進め、神津恭通氏を中心として依田普一郎氏・小山盛夫氏・桑原

邦夫氏・間野永光氏の5名との間で数回の会合を開きロータリーに就いて説明し発起人となるよう依頼しました。

5人が発起人となることを承諾されましたので、スポンサークラブの拡大会議で準備した推薦名簿を渡しました。

しかし、これに拘束されることなく、あくまでも自分達で自分達のクラブを作る考えで進んでもらうよう依頼を致しました。

従いまして、この名簿を発起人の5人でよく検討し、更に新しい候補者を追加して参りました。尚、会員の獲得は5人の発起人が各自分担して勧誘に当たることになり、スポンサークラブでは、要請や依頼のあった人についてお手伝いをして参った次第です。12月中旬より発起人の勧誘が始まり、創立会員候補者の数がだんだん増加して参りました。2月2日第一回の新クラブ結成例会を開き35名の出席者を得ました。以後、毎火曜日に結成例会を開き、新会員相互の親睦を計り、創立総会の為の準備を進めて参り、本日に至った次第です。



・事務局、小諸商工会議所
小林君
(渡辺専務より嘆かれる)

・東急での例会開催時はビジターのメークが非常に大勢だった。
・会員間の大きないさかい等も無く今日に至る。

【神津会員から創立時における補足説明】

- ・入会金5万円、年会費17万円、チャーターメンバー34名(うち、今現在の在籍者11名)
- ・例会場はこもろ東急百貨店
- ・クラブ名の小諸浅間は、従来は地区名の後に東、南、西、北をつけるのが一般的であったが、小山盛夫さんから強い要望あり決まった。バナーも小山敬三先生のご親戚でもあったことから紅浅間の使用認められた。
- ・高橋昭夫さんだけ小諸 RC から移籍

【本日のプログラムその2】

小諸高校音楽科へ寄付金贈呈

【贈呈場面】



【御礼挨拶】
木内校長



【実績報告】
池内先生



【懇親会風景】

先生方にもご参加いただいて



話に熱がこもる



紅一点を囲んで



会長、幹事で先生方を接待(いや、マイペース?)



小池先生！タイミング悪くてごめんなさい



でも、こちらはバッチリ



最後の締めはやはりこの方！
味のあるご挨拶で締めを盛り上げる
渡辺文夫会長エレクト

皆さま、たいへんお疲れさまでした。